

2023年3月24日

一般社団法人 日本広告業協会

第58回吉田秀雄記念賞 決定のご報告

一般社団法人日本広告業協会（理事長 五十嵐 博・電通グループ 代表取締役 社長 CEO）による第58回吉田秀雄記念賞の個人賞・グループ賞の受賞者が下記の通り決定いたしました。グループ賞は4年ぶりの選出となりました。

吉田秀雄記念賞とは、当協会の前身である日本新聞放送広告業者協会の幹事長として、日本の広告業界の近代組織化を図り、その質的向上によって今日の広告産業を築きあげた、吉田秀雄氏（元電通・社長）の偉業と功労をたたえ、氏の業績を永く記念する為に、昭和39年に制定されたものです。

なお、贈賞式は5月31日開催の2023年度定時総会後の記念式典にて行う予定です。

個人賞

かんだぼし おさむ
神田橋 治 氏（株式会社 TOMOE 代表取締役社長）1948年生 74歳



〔略歴〕

| | | |
|-------|----|--|
| 1972年 | 3月 | 中央大学卒業 |
| 1972年 | 3月 | 株式会社 巴弘告社入社 (2006年商号を株式会社 TOMOEと変更) |
| 1993年 | 1月 | 同社 営業本部営業局長 |
| 1997年 | 3月 | 同社 取締役営業局長 |
| 2004年 | 3月 | 同社 常務取締役営業本部長 |
| 2005年 | 3月 | 同社 代表取締役社長 |

〔協会役職〕

| | | |
|-------------|-----|----------------------|
| 2007年 | 7月～ | 当協会理事 |
| 2016年 | 6月～ | 当協会運営委員・吉田秀雄記念賞選考委員会 |
| 2016年～2018年 | | 広告問題研究委員会担当理事 |
| 2019年～ | | ビジネス統括委員会担当理事 現在に至る |

〔贈賞理由〕

2007年協会理事に就任。以来、長きにわたり協会運営に貢献し、広告業界の発展向上のために尽力されている。2016年に運営委員会並びに吉田秀雄記念賞選考委員会の委員と、広告問題研究委員会担当理事に就任。2019年からは、ビジネス統括委員会の担当理事に就任し、統括する各事業委員会の活動を承認するとともに理事会において、業務報告を行い協会運営に貢献された。

グループ賞

一般社団法人 日本広告業協会 字幕付きCM普及推進に尽力されたみなさま
(字幕付きCM普及推進協議会・業協運営委員、字幕付きCM検討WG)

●日本広告業協会 字幕付きCM普及推進協議会

運営委員 沼澤 忍 (電通 コーポレートオフィス広告電通賞プロジェクト部広告電通賞事務局長補佐)
運営委員 陣内 満 (電通 ラジオテレビ局スポット3部長)

●字幕CM協議会の実務者会議に対応した字幕付きCM検討WGの方々

リーダー 藤井 康正 (電通 メディア・コンテンツ事業推進局 進行部長)
サブリーダー 淵上有理子 (博報堂DYメディアパートナーズ 計画管理局テレビ・ラジオ進行業務部長)
メンバー 井上 聡 (電通 メディア・コンテンツ事業推進局 確認部長)
メンバー 外山 善太 (博報堂DYメディアパートナーズ 計画管理局テレビ・ラジオ進行業務部
メディアトラフィックディレクター)

[贈賞理由]

2014年10月、日本アドバイザーズ協会・日本民間放送連盟・日本広告業協会の3団体により、「字幕付きCM普及推進協議会」を設立。以来、セミナーや説明会、字幕付きCMハンドブックの発行やプラットフォームの提供など、字幕付きCMの普及推進に取り組み、昨年10月には、ほぼすべてのCM枠(タイム・スポット)で字幕CMのオンエアが可能となるなど大きな成果を上げている。